

# ひなたぼっこ通信

2017年  
6月号

「スタッフジャンパーを作りました！」友の会



Health・Hand・Head  
Heart・Humor！！

買物や病院などへの送迎や付き添いなど、施設の外部で仕事をするときに見分けがつくように、スタッフジャンパーを作りました。

デザインのコンセプトは、「福祉」という落ち着いたイメージではなく、躍動感ある生き生きとした活動をイメージするもの、そして独自性のあるデザインにしたいと想いました。色は派手すぎず、誰が着ても違和感のない色を選びました。

背中のロゴには、福祉に携わる人なら知っておきたい大切な条件「HHC」を付け加えてみました。Health(健康)、Hand(手)優れた技能)、Head(頭)冷静な頭工夫)、Heart(心)温かい心)、Humor(ユーモア)。

さてさて、ひなたぼっこのイメージに合っていますか。これを着て地域社会の貢献にも力を入れています。(友の会 手嶋)

## ケアハウスから

「楽しかったお花見外食」1階

ケアハウスでは4月の17日、27日の9日間、お花見と外食のツアーが行われ、合わせて42名の方が参加されました。

今年は開花が遅く、お花見する場所を選びながらでした。桜の花もとても綺麗でしたが、やはり「花より団子」。普段の食事は残される方も、レストランでは殆ど完食されていました。色とりどりの料理を食べながら、利用者様の会話も弾み、「今日はとっても楽しかった。また来たいね」と言ってくれました。

次は紅葉狩りツアーへ、みなさん、出かけましょうね！(K)



## 「お花見2」

事務室の窓から見える山や草花は青々とし、気持ちの良い季節になりました。

先月の事ですが、ケアハウスではお花見&外食ツアーが行われ、沢山の利用者様に参加して頂きました。私も1日ではありましたが一緒に参加させてもらいました。

当日はとても暖かい日で、高島城公園には桜だ

けでなく、様々な花が咲き揃っていました。ご利用者様の中には「昔どこに何度も来たよ」とお話ししてくれる方や、お花や木々の説明をしてくださる方がいらして、とても楽しい時間を共有できました。

ところで、ケアハウスの入り口には、いつもお花を飾って下さる利用者様がいらっしやあって、施設を華やかにしてくださっています。

花は見るだけで、深層心理や感情に大きな影響を与えて、花の持つ香りが脳に伝わり、記憶や感情に影響を与える事があるといえます。

ケアハウスもそれらの花のように、利用者様にとって、癒しの場所になれるよう努めていきたいと思えます。(事務室 Y)

## 宅幼老所から ①「新しい送迎車」

今月から、宅幼老所に新しい送迎車が仲間入りました。トヨタのシエンタです。今あるマツダプレマシーに続く、2台目の7人乗りの車です。色はシルバーで、カーナビ付きの四輪駆動車です。バックモニターも付いているため後方確認ができて安心です。

プレマシーよりは長さや横幅が少し狭いため、細い道でも小回りが利きそうです。利用者様も、「新しい車がきたんだね！」と、早くも期待されています。

これから利用者様の送迎で大活躍してくれることでしょう！

②「今年も畑やりますー！」

5月に入り、気温も上がってまるで夏のような日もありますがいかがお過ごしでしょうか。宅幼老所では、今年も畑仕事が始まりました。今現在植えてあるのは、食用ほおずき、トマト、ナス、ピーマン、ネギ、じゃがいも、トウモロコシ、茶豆、モロッコいんげん、きゅうり、かぼちゃ、ズッキーニ、夕顔です。

ほとんどの苗は理事の方からいただいたものです。じゃがいも、トウモロコシ、茶豆、モロッコいんげんは種から植え、もう芽が出てきました。

去年も利用者様に畑の手入れや収穫を手伝っていただきましたが、大きくなりすぎたおぼけズッキーニにびっくりした記憶が今でも残っています。今年は去年よりも種類が多いので、利用者様と一緒にたくさんのお野菜が収穫できることを楽しみにしています。



「ある朝食後の会話から」ケアハウス2F  
「向こうに見える新しいおうちの後ろに咲いている花、あの白いのは何ていう花かね。あれは見事

でねえ。自分では見に行けないから、お姉さん（スタッフのこと）聞いてみようと思って。」

ある朝、利用者様がそちらの方向を指さしながら、スタッフにお尋ねになりました。尋ねられたスタッフも、花の名前を知りませんでした。そ

こで、他のスタッフに聞いたところ、その花の名前は「ハナミズキ」だと分かりました。

桜の花と入れ替わるように街路や山を彩って咲き始めたハナミズキです。ひなたぼっこからの眺望は四季を通して利用者様や私たちの目を楽しませてくれます。

誰かと楽しみや美しさを共有できたなら、それはとても幸せなことだと思います。さて次は、何の花を楽しみましょうか。(F)

### グループホームから

「利用者様と一緒に作品作り」

グループホーム2Fでは、利用者様と一緒に作品作りに励んでいます。折り紙を切って、切った物を利用者様に画用紙に貼って頂きました。6月の花と梅雨の時期に合わせて、あじさいやかわいいカエルをキレイに飾ってもらいました。今は未完成ですが、完成を楽しみに毎日職員に「今日は飾るものないの?」など聞いて下さいます。

また、来月このひなたぼっこ通信に完成した作品に題名を付けて発表したいと思います。



利用者様に作品を持って写真を撮りましたが、恥ずかしいようで顔を隠されています。



「見て聞いて感じる季節です。一番は食べてかな。」

華やく季節です。GH1Fは窓越しにあでやかな八重桜をみることが出来、食事をしながら話にも花が咲きました。陽気もとても過ごしやすくなり、お散歩に出れば花を摘んで食卓に飾って下さる方。玄関先のいすに座り心地良い春の風の中、幼少の時の思い出話を懐かしそうにして下さる方といます。

旬の食べ物、ご利用者の方の慣れた手つきで「ハイ!ふきの煮物の出来上がり!!」みんなで春を堪能しました。ヨモギはすり鉢ですりつぶして頂き、すいとん粉で作った「なんちゃってヨモギ餅」で春の香りを楽しみました。「初物だから美味しいわ」「香のいいね」と言いながら、召し上がりました。

初物食べて、  
気力と活力生  
き生きの1F  
の皆さんです。

発行 社会福祉法人ひなたぼっこ

理事長 森 正明

〒3309-0211

富士見町富士見11650-1

TEL 0266-61-2335

FAX 0266-61-2336